2014年度経営者「環境力」大賞

きょう顕彰式と発表会

認定NPO法人環境文明21（東京都大田区、加藤三郎共同代表、03・5483・8455）と日刊工業新聞社は、きょう13時半から東京都渋谷区のアイビーホールで、2014年度経営者「環境力」大賞の顕彰式と発表会を行う。同賞は環境と経営の持続可能な一体化を目指して顕彰するもので、08年度から開催し、今回が7回目。損保ジャパン日本興亜環境財団、西武信用金庫、カネパッケージ、スーパーホテル、カネコ工業、トベ商事、はくばく、高特が協賛。今回は大賞として7人が受賞した。

環境文明21　共同代表　加藤　三郎氏

講評

民間非営利団体（NPO）が経営者の「環境力」を顕彰するというのは、大変僭越なことですが、経営者の皆さまから一定の支持を得て、また4年前からは日刊工業新聞社も主催に加わり、さらにこの事業に協賛して下さるつどですが、世界各地で異常気象の頻発や生き物の絶滅危惧などが示すように、全ての生命と経済活動の基盤でもある地球環境は、ますます極めて厳しい状況に陥りつつあります。

それゆえに、国も企業・団体も増え、今回で7回目の大賞顕彰事業となりました。全国各地で「環境力」を発揮している、ひときわユニークで優れた7人の経営者を今回顕彰できますことは、私たちの喜びであり、光栄でもあります。

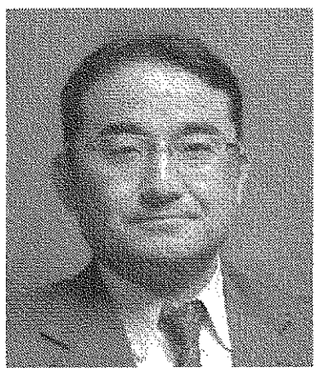
環境の悪化に対する政治の取り組みも、市民の関心も今ひとつですが、世界各地での異常気象の頻発や生き物の絶滅危惧などが示すように、全ての生命と経済活動の基盤でもある地球環境は、ますます極めて厳しい状況に陥りつつあります。

それゆえに、国も国際社会も環境対策を強化しようとしていますので、企業活動に対しても、ある種の制約となります。しかしその制約をむしろ、企業の技術力や経営力を伸ばすチャンスと捉える経営者も少なからずいます。すなわち、環境への取り組みを通して負荷を削減し、資源効率を高め、コスト削減や効率向上につなげることができます。

このように「環境力」とは、企業が環境を維持・改善しようと本気で取り組むと、経営力も合わせて高めてしまう総合力のことですが、今回の受賞者の方々も、そのことを見事に実証して下さる粒ぞろいな方々なのがうれしい。

経営力 伸ばすチャンスに

こんの社長　紺野　道昭氏



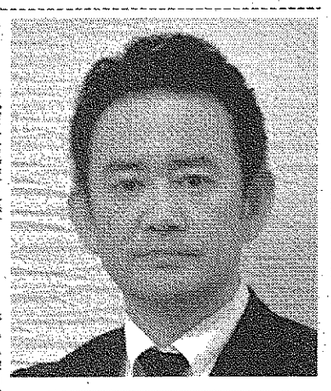
このたびは2014年度経営者「環境力」大賞という大変名誉ある賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。関係者の皆さま、そして日頃ご支援をいただいている全ての皆さまに、まずは心より感謝を申し上げます。

当社は「お客さま、社員の物心両面の豊かさを追求しつつ、地球環境を最優先に考え行動する」を経営理念に、古紙の再資源化を柱にする総合リサイクル企業です。おかげさまで私で三代目、創業64年になります。

ギブアンドギブの精神

さらにこの先、百年企業に向け、経営者として日々心掛けていることは「ギブアンドギブの精神」。これをモットーに感謝の心や謙虚さを大事にし、社員一人ひとりが自立・自律できるよう「従業員愛世界一！」を心に刻んだ、厳しくも優しい経営です。会社の継続的成長は、社員が人間的に成長し続けることで成し得るものと思っています。従業員と会社を愛する気持ちを強く持った経営に今後とも心がけて参ります。

福島ミドリ安全社長　白石　昇央氏



3・11以前は地球温暖化問題がフォーカスされ、京都議定書の発効により、二酸化炭素（CO2）をいかに削減するかについて気候変動枠組み条約締約国会議（COP）などで議論がなされました。

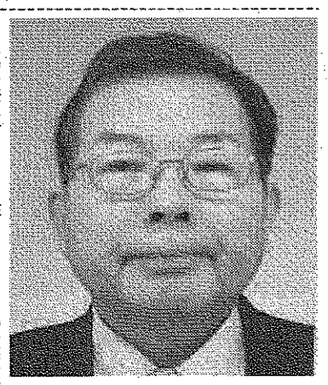
3・11というTsunami（津波）、Earthquake（地震）、Radiation（放射線災害）が同時発災したフクシマにより、日本の環境神話と安全神話が崩壊したことで、化石燃料と再生可能エネルギーのせめぎ合いも激化しています。

一方で「大規模系統連携」依存型から小規模・自立・分散型のエネルギーシフトの萌芽も見受けられます。

受賞を機に日本の新たな「環境神話」と「安全神話」の創発に向け、福島ミドリ安全（＝安全）とエナジア（＝環境）を両輪駆動させ、「フクシマ復興の見える化」をより加速して参ります。

フクシマ復興をより加速

会川鉄工社長　会川　文雄氏



このたびは2014年度経営者「環境力」表彰において大賞をいただき、大変うれしく光栄に思っております。

当社は福島県いわき市に本拠地を置き、会社が目指す地球環境の保全に向けて、最近では特に、大型容器製品や再生可能エネルギー製品に注力してまいりました。

そうした中、11年3月11日に発生した東日本大震災、ならびに福島第一原子力発電所の爆発事故により未曾有の災害に直面しましたが全国の数多くの方々からのご支援をいただいてまいりました。

今回は復興に向けた福島第一原発での廃炉措置に加え、40年に再生可能エネルギー率100％を目指す福島県での取り組みへの思いと感謝を込めて、経営者「環境力」表彰に応募いたしました。

栄えある受賞を機にさらなる決意と信念を持って、環境保全に取り組んでいく所存であります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

再生可能製品に注力

大賞　受賞者　喜びの声

最近は夏の猛暑が定着し、竜巻被害も各地で発生するなど、地球温暖化に伴う気候変動現象が、従来よりも顕在化する傾向にある。一方で、東日本大震災からの復興や原発事故への対応も十分とはいえない状況の中、改めて「安心・安全で心豊かに暮らせる持続可能な社会」への転換と、それに寄与する新たな社会経済活動、ビジネスモデルへの転換が強く求められている。

そこで環境文明21は日本経済の根底を支える中堅・中小企業が、社会と共生しながら持続可能な経営を行い、再生に今こそ、その経験や実績を発揮する好機であると判断。それには、全ての企業関係者が経済と環境の一体化を目指して努力することと、とりわけ経営者の役割と責任が決定的に重要であるとして、「環境力」にあふれる中堅・中小企業経営者を全国から発掘し、経営に対する思いや考え方、事業活動を多くの関係者に知ってもらい、そのネットワークを広げることが重要と考え、経営者「環境力」大賞を創設した。11年度からは日刊工業新聞社も加わり、共同で運営してきた。

今回14年度の大賞受賞者は7人。

紺野道昭こんの社長は、古紙の再資源化を中核とする総合リサイクル企業を経営。古紙リサイクルが森林資源の効率的利用、地球環境保全において不可欠なものであると認識、古紙の仕入れ・選別圧縮・梱包・輸送の事業活動を通じ循環型社会の形成に貢献するとともに、同社の環境方針。

そのため、認証を受けた環境経営システム「エコアクション21」に基づき、環境関連の法令・条例などの規制事項を遵守するとともに、地域・業界・顧客の環境関連要求事項に配慮しつつ、環境活動の継続的改善を図る。環境目標と行動計画の策定では①廃棄物の分別徹底によるリサイクルの推進②二酸化炭素（CO2）排出量削減のための省エネルギーの推進③総排水量の削減と適正使用―を重要活動ととらえ、目標達成を目指す。

また、全社でカーボンオフセットユニフォームを導入。これは政府の推奨する地球温暖化防止のための国民運動「チャレンジ25」キャンペーン活動に貢献できる、環境省の認証制度に基づくオフセット・クレジット（J―VER）の製品。この導入で202キログラムのCO2削減に貢献した。

白石昇央社長が経営する福島ミドリ安全は、ユーザーの地球温暖化防止活動に貢献できる先進環境スキームと、地球温暖化防止対策商品の創造提案企業。環境省温室効果ガス排出削減の認証第1号事業者である高知県から、木質バイオマス発電で発生した国内排出権の売買契約を締結し、国内初のオフセット・クレジット付ユニフォームの企画・開発・販売を始めている。このように、福島ミドリ安全からユニフォームやシューズ、ヘルメットといった地球温暖化防止対策商品をユーザーは購入することで、CO2削減プロジェクトや地球に優しい環境CSR（企業の社会的責任）活動を進められる。

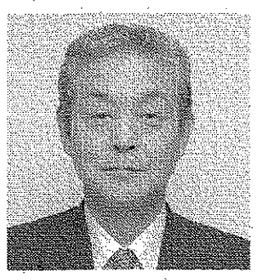
金属容器および配管などを製造する会川鉄工の会川文雄社長は、会社の目的に、地球環境の保全を正面から掲げている。具体的には、かけがえのない地球と生命を守るため、事業に伴う環境負荷を低減するとともに、環境保全の意識向上を推進、より安全で快適な社会を目指す―としている。同社の主要な製品は、大型・中型容器や太陽光発電架構、風力発電タワーだ。

中でも大型容器製品や再生可能エネルギー製品に注力しており、09年9月には風力・太陽光発電システム環境事業部を新設。再生可能エネルギー製品への追い風ムードを生かしたビジネスを展開。11年3月に起きた地元の福島第一原子力発電所爆発事故後は、同発電所の廃炉に向けた取り組みにも参画。また海外からの受注も積極的に手がける方針で、同年10月には海外事業部を新設。香港や上海のほか、シンガポール、ベトナムなど東南アジア諸国連合（ASEAN）向けを中心に進める。

ほかにも、廃棄物処理・古豊リサイクルを行う西日本ファームの大久保雅生社長、電気機器製造業であるアキテックの大田禊之社長、森林バイオマスコンサルティングを行う森のエネルギー研究所の大場龍夫社長、廃棄物処理業の三友プラントサービスの小松和史社長が受賞した。

日刊工業新聞社社長　井水　治博

ごあいさつ



2014年度経営者「環境力」大賞を受賞されました皆さまに、心よりお祝いを申し上げます。また本賞の趣旨にご理解を賜り、ご協力をいただきました関係各位に深く感謝をいたします。認定NPO法人・環境文明21とともに、これまで中小企業の皆さまに環境を意識した経営の重要性を広めたいと事業に取り組み、今回は7人の経営者を選考することができました。

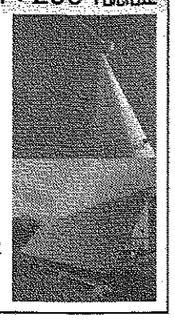
産業界に景気回復への期待感が広がっております。安倍首相の経済政策「アベノミクス」によって株価が上昇するとともに、円安によって大手製造業の収益が改善し、前向きな投資を検討する企業が増えてきました。海外シフトしていた生産を再び日本に戻す「国内回帰」の動きも広がってきています。

景気の先行きに懸念がないわけではありません。安倍首相は経済最優先の政権運営によって、デフレからの脱却に強い意欲で臨むことを表明しています。産業界としてもこのチャンスを逃すことなく、「新たな成長」へとアクセルを踏まねばなりません。ただ新たな成長を手にするためには、守りから攻めへと経営を転換させていくとともに、中小企業であっても、経済のグローバル化への対応、技術レベルを上げる新興国の動向、さらには地球環境といった問題にも目配せすることが求められるようになっています。

日本経済の強みは、全国に力を持った中小企業が集積していることにあります。中小企業がこれまでにも増して「環境力」に磨きをかけ、日本企業全体の環境力が底上げされていくことになれば、それは国際社会における新たな強みにもつながっていきます。皆さまの、ますますのご活躍を期待いたします。

環境を日本の強みに

地球にやさしいココロジー
株式会社こんの
～エゴからエコへ～
代表取締役　紺野 道昭
福島県福島市陣場町2-20
TEL (024) 524-2345
古紙・廃棄物の処理は、弊社にお任せ下さい！（全国対応致します）
http://www.konno.gr.jp/

地球に優しい環境に取り組み
地域社会の発展とお客さまと共に70年
ISO 9001：2008認証 ISO 14001：2004認証
大型製缶・大型容器・架橋・配管
ロボット・風力・太陽光発電システム
AIKAWA
会川鉄工株式会社
代表取締役　会川 文雄
専務取締役　会川 定宏
〒979-0202
福島県いわき市四倉町上仁井田字東山46
電話：0246-32-3811　FAX：0246-32-3812
E-mail：aikawatk@gaea.ocn.ne.jp
http://aikawatk.co.jp/


WE ARE THE FUKUSHIMA JAPANESE
私たちは、新たなニッポンの安全神話と環境神話を創りだす
フクシマ・ジャパニーズです。
福島ミドリ安全株式会社
代表取締役社長　白石 昇央
【本社】〒963-8550 福島県郡山市桑野4-1-22
TEL.024-923-5178・FAX.024-923-5211
E-mail info@f-midorianzen.co.jp

歴代の経営者「環境力」大賞受賞者一覧

2013年度

氏名	会社名	役職
池田 治子	(株)エコトラック	代表取締役
石川 武	三共精機(株)	代表取締役社長
尾﨑 俊也	アースサポート(株)	代表取締役
長澤 利久	(株)はくばく	取締役会長
林 英夫	武州工業(株)	代表取締役
福田 章一	(株)ウェルシィ	取締役

2012年度

大賞

氏名	会社名	役職
大川 哲郎	(株)大川印刷	代表取締役社長
金坂 良一	カネパッケージ(株)	代表取締役
近藤 亮介	親和環境(株)	代表取締役
谷 學	グリーンブルー(株)	代表取締役
野老 真理子	大里綜合管理(株)	代表取締役社長
鳥波 益男	東海サーモエンジニアリング(株)	代表取締役
山崎 保彦	(株)北陽商会	代表取締役

奨励賞

氏名	会社名	役職
金子 正平	カネコ工業(株)	代表取締役
日野 榮	(株)サンテック	代表取締役

2011年度

氏名	会社名	役職
畝本 典子	石坂産業(株)	取締役社長
落合 寛司	西武信用金庫	理事長
川本 義勝	(株)カンサイ	取締役会長
戸部 昇	(株)トベ商事	代表取締役
松岡 幸一	(株)マツユキリサイクル	代表取締役

2010年度

氏名	会社名	役職
石井 邦夫	(株)市川環境エンジニアリング	代表取締役社長
田畑 日出男	いであ(株)	代表取締役会長兼社長
中島 賢一	(株)リーテム	取締役会長
平田 克明	(有)平田観光農園	代表取締役会長
森 雅美	(有)森ファームサービス	代表取締役

2009年度

氏名	会社名	役職
板橋 英隆	NECキャピタルソリューション(株)	代表取締役社長
薗田 綾子	(株)クレアン	代表取締役
田中 稔	田中建材(株)	代表取締役
初谷 博	(株)吉岡	専務取締役
森 建司	新江州(株)／循環型社会システム研究所	代表取締役会長／代表
山本 梁介	(株)スーパーホテル	会長

2008年度

氏名	会社名	役職
麻生 義継	(株)東亜電機工業社	代表取締役／Sky-group代表
小川 勲	(株)オガワエコノス	代表取締役社長
髙橋 房雄	(株)高特	代表取締役社長
田中 正敏	近畿環境興産(株)	代表取締役社長
藤田 和芳	(株)大地を守る会／NGO大地を守る会	代表取締役社長／会長
向山 邦史	向山塗料(株)	取締役相談役
柳田 弘明	大和信用金庫	理事長

※五十音順／敬称略

2014年度経営者「環境力」大賞受賞者一覧

氏名	会社名	役職	所在地
会川 文雄	会川鉄工(株)	代表取締役	福島県いわき市
大久保 雅生	(株)西日本ファーム	代表取締役	兵庫県姫路市
大田 禊之	(株)アキテック	代表取締役	千葉県千葉市
大場 龍夫	(株)森のエネルギー研究所	代表取締役	東京都羽村市
小松 和史	三友プラントサービス(株)	代表取締役	神奈川県相模原市
紺野 道昭	(株)こんの	代表取締役社長	福島県福島市
白石 昇央	福島ミドリ安全(株)	代表取締役社長	福島県郡山市

※五十音順／敬称略